

いま見える未来は、超えていける。

安田倉庫は、挑戦を続けます。

国境も、従来の物流の枠も超える、ボーダレスなロジスティクスカンパニーへと進化するために。

そして、お客様が思い描く事業と社会の新しいかたちを創造するために。



大和インベスター・リレーションズ 個人投資家向け会社説明会

安田倉庫株式会社（東証一部：9324）

代表取締役社長 藤井信行

2021年9月15日

YASDA

Logistics, Progress, Borderless.

目次

1. 安田倉庫について
2. 成長戦略（長期ビジョンと中期経営計画）
3. トピックス
4. 安田倉庫の株主還元
5. 参考資料

01

安田倉庫について

会社概要

会社名	安田倉庫株式会社 Yasuda Logistics Corporation
所在地	東京都港区芝浦三丁目1番1号 msb Tamachi 田町ステーションタワーN 29階
創立	1919年12月20日
代表者	代表取締役社長 藤井 信行
事業内容	倉庫業、運送事業、不動産業
資本金	3,602,100千円
市場	東証一部（証券コード：9324）
従業員数	単体 430名 連結1,516名（2021年3月期）
連結子会社	14社（国内10社 海外4社）



msb Tamachi
田町ステーションタワーN

企業理念・コーポレートスローガン

安田倉庫グループ企業理念



安田倉庫コーポレートスローガン

Logistics, Progress, Borderless.

お客様と共にグローバルなロジスティクスカンパニーに成長すべく、当社グループが一体となり、その一人一人が従来の事業の枠にとらわれることなく常に発展・成長を続け、物流を進歩させていく決意を表しています。

100年を超える歴史

1919

興亜起業株式会社として創立

.....
安田善次郎と守屋此助による
共同設立

1942

社名を安田倉庫株式会社に改称

.....
芙蓉グループの一員

2005

東証1部に上場

2014

メディカル物流ユニット・ITキittingユニットを設置

現在の成長ドライバーである
メディカル・IT物流に注力

英文商号を「Yasuda Logistics Corporation」へ改称

「Yasuda Warehouse Co.,
Ltd.」より改称

2019

創立**100**周年を迎える

Logistics, Progress, Borderlessを制定

大西運輸・オオニシ機工のグループ化を決定

.....
M&Aによりネットワーク拡充

2020

東雲営業所(東京メディカルロジスティクスセンター)開設

メディカル物流サービス
特化型の拠点拡充

2021

辰巳倉庫(東京メディカルロジスティクスセンターⅡ)開設

RFルーカス社への出資

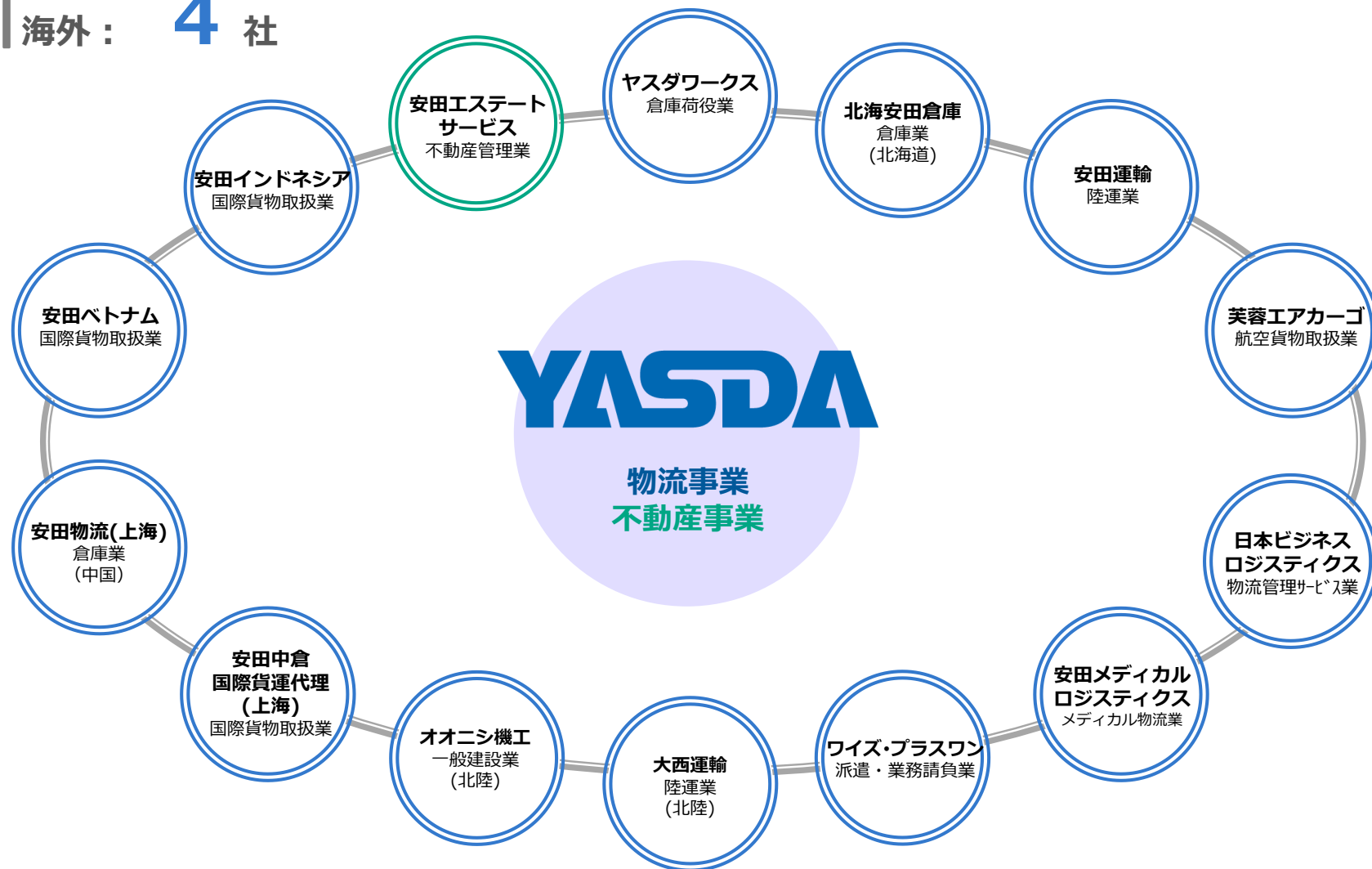
.....
物流DXを目的とした
先進技術を持つ企業への出資



安田倉庫グループ

国内：10 社

海外：4 社



強みと優位性

1 | 大消費地(首都圏・関西圏)を中心とした拠点展開と
配送ネットワーク



2 | 満足度の高いサービスによる、グローバル企業や
独自の競争力を持つ企業との安定した取引



3 | メディカル機器・IT機器など高付加価値な製品の
豊富な取扱実績と、蓄積されたノウハウ



4 | 既存物流拠点の再開発(オフィス、ホテル、商業施設ビル)
による安定的な不動産事業展開



日本全国をカバーする国内ネットワーク

東西の主要拠点により持続的なサプライチェーンを提供

● 国内倉庫拠点 計：22拠点

● 関係会社 計：13拠点

関西 拡大図



九州 拡大図



北陸 拡大図



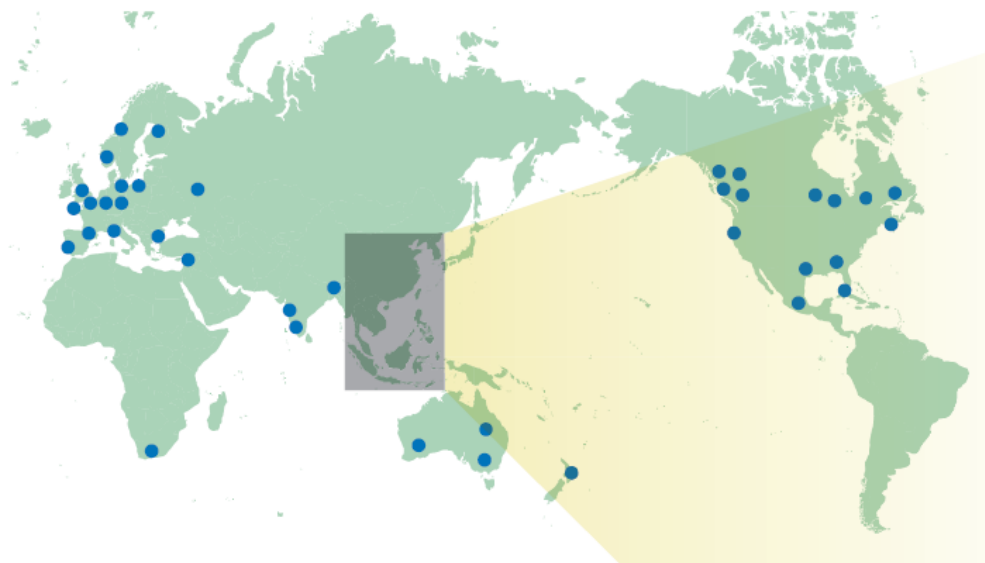
北海道 拡大図



関東 拡大図

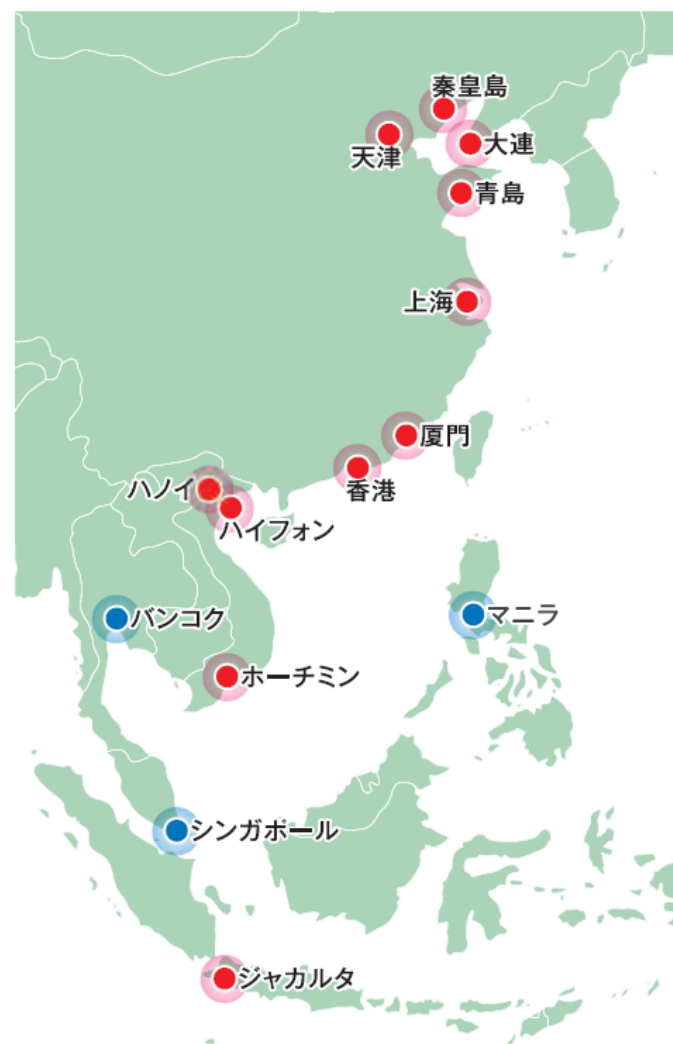


中国・ASEANを中心に世界各国へ展開するネットワーク



安田物流(上海)有限公司

中国・ASEAN 拡大図 ● 自社拠点 ● 代理店



様々なサービスを提供する総合物流企業





国内物流

好立地の拠点群を基盤に 最適なロジスティクスを一括提供

保管



自動ラック

流通加工



ラベル貼り

輸配送



チャーター/共同配送



自動貨物ソート機



検品作業



配車業務

メディカル専門設備、認証・許可、輸配送網 による専門性の高いサービス

専門設備

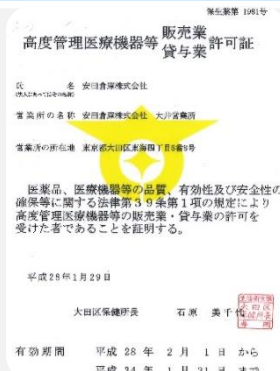


冷蔵設備・洗浄設備



災害に強い免震構造

認証等



高度管理医療機器等販売業/貸与業許可証

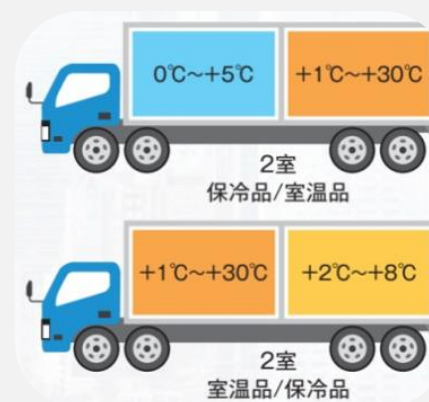


ISO13485(医療機器品質管理)

専用輸配送網



医薬品専用車両



医薬品特性に合わせた二層式車両



情報資産に係る物流サービスを ワンストップで提供

IT機器キitting



PCキitting



スマートフォンキitting

配送・設置



サーバー移設・配送・設置

回収・廃棄



情報資産の回収・廃棄



磁気消去機



文書保管・引越

文書の安全な保管・検索・管理や引越など オフィス関連の要望に細かく対応

文書保管



文書検索サービス

情報管理・配信



文書電子化



鍵付リサイクルボックス

引越



オフィス移転作業



海外・国際物流

アジアを中心とした世界的なネットワークを活用した国際輸送サービス

国際輸送サービス



海上・航空輸送サービス



中国EC物流

特殊貨物取扱 (大型資機材・ハンガー-貨物)



大型資機材輸送サービス



ハンガー輸送サービス

輸出入通関サービス



AEO認定通関業者



不動産

ニーズにあった再開発、オフィスビル、住居等 快適な空間をご提供

オフィスビル



TVPビル



ピアシティ芝浦



第4安田ビル



第5安田ビル

ホテル・商業施設ビル



第7安田ビル



ラビスタ函館ベイ

02

成長戦略（長期ビジョンと中期経営計画）

「長期ビジョン2030」の概要

『世界に誇れるYASDAブランドと革新的テクノロジーの融合で
全てのステークホルダーの期待を超える企業グループを目指す』

顧客

他の追随を許さないロジスティクス・ソリューションと
人間力で確固たる顧客満足を獲得する。



株主

高い収益力と強固な財務基盤
により企業価値の向上を図る。

従業員

多様性を尊重し働きやすく且つ
働き甲斐のある職場で従業員が
最大限のパフォーマンスを
発揮する。

社会

事業を通じた環境負荷低減や高い災害強靱性で
持続可能な社会の構築に貢献する。

中期経営計画「YASUDA Next 100」の概要

基本方針

お客様ニーズに多彩なソリューションと最先端テクノロジーで応え、
お客様と共にグローバルなロジスティクスカンパニーへと成長する。

基本目標

1. お客様の潜在的なロジスティクス・ニーズを捉えたスピーディーな課題解決
2. 保有不動産の資産価値向上による収益基盤の強化
3. グローバルに渡り合えるグループ経営インフラの確立

営業収益 550 億円
営業利益 40 億円
経常利益 45 億円
営業利益率 7%

基本戦略

経営インフラの高度化

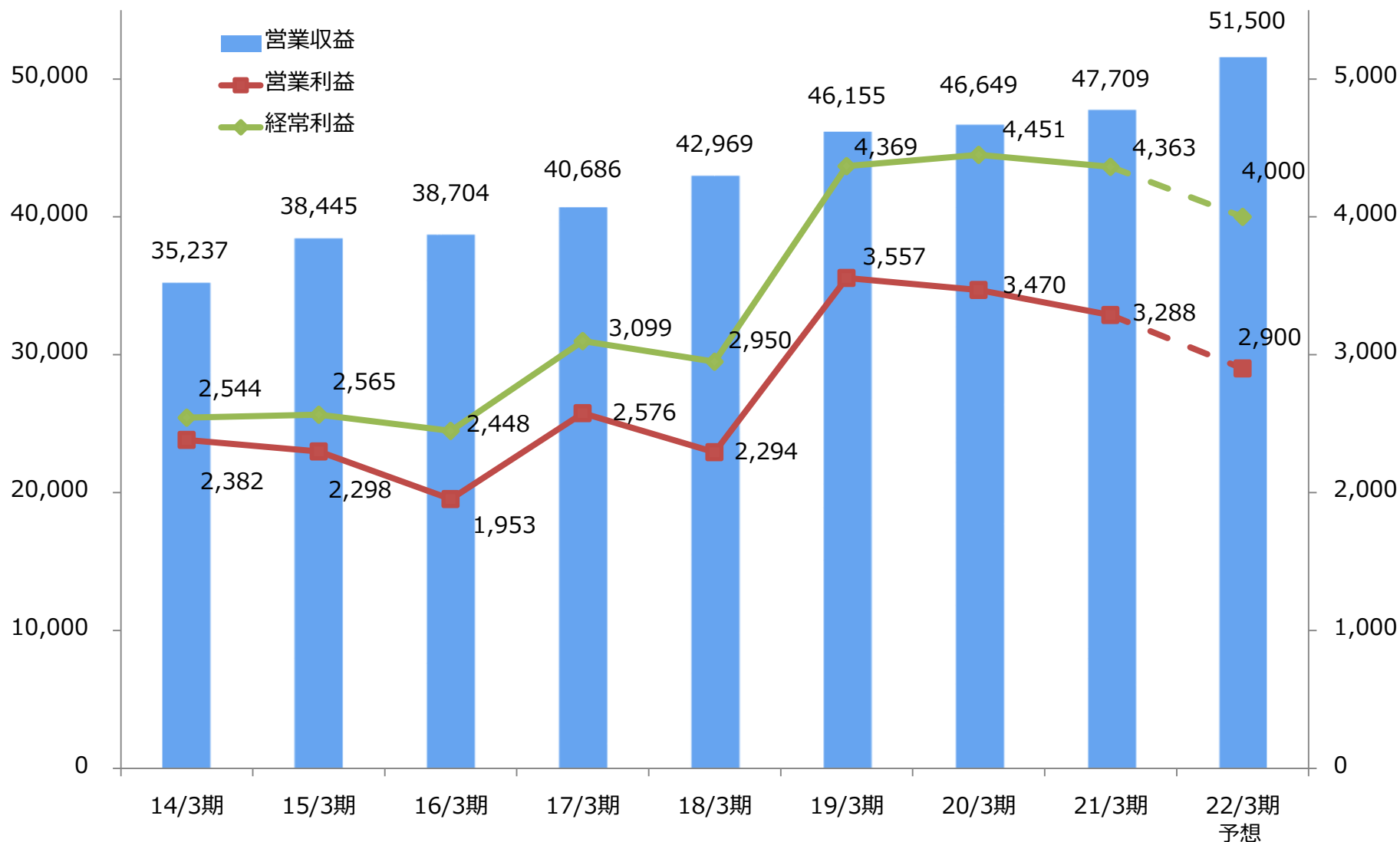


付加価値の高いロジスティクス・サービスの提供

不動産事業の維持・拡大

業績推移（連結P/L）

（単位：百万円）



前々・中期経営計画

前・中期経営計画

YASDA Next 100

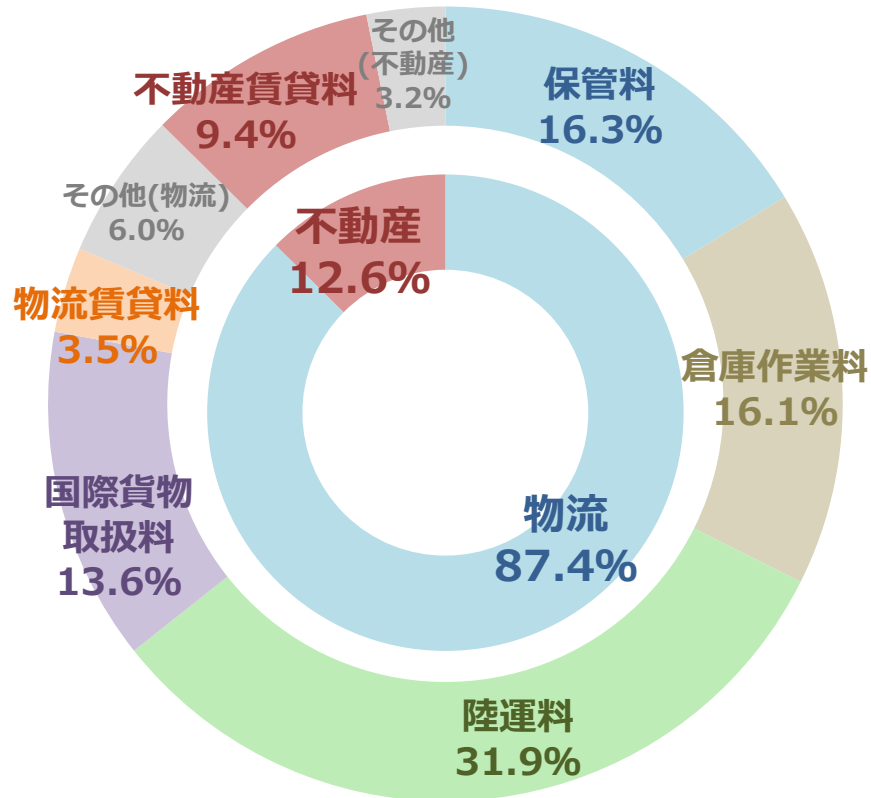
決算概況

	22/3期 1Q累計	通期業績予想	進捗率
営業収益	12,579	51,500	24.4%
営業利益	710	2,900	24.5%
経常利益	794	4,000	19.9%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	497	2,600	19.1%

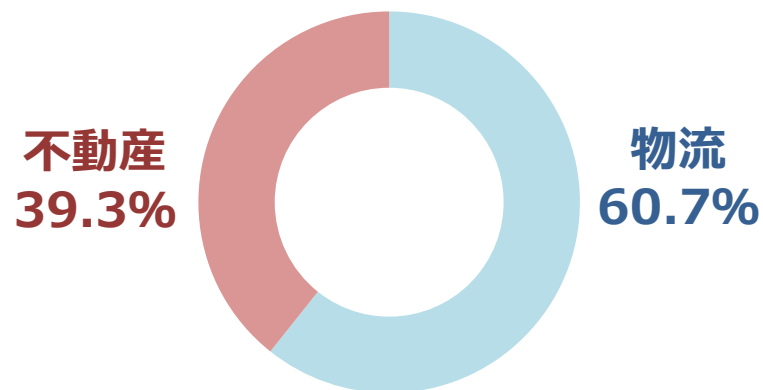
1Qの業績は概ね計画通りで推移のため
業績予想の修正無し

物流事業と不動産事業によるセグメント区分

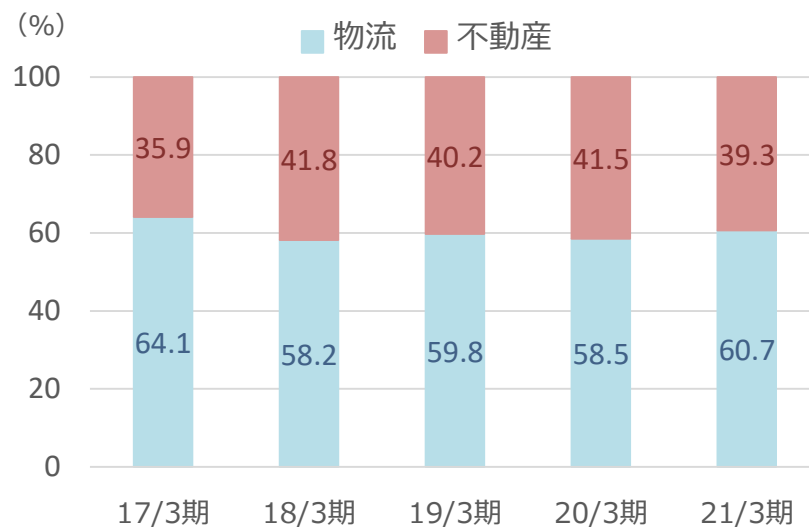
営業収益



営業利益



直近5期の割合動向(営業利益)



(2021年3月期)

03

トピックス

都心にメディカル物流特化型倉庫を増強

倉庫外観



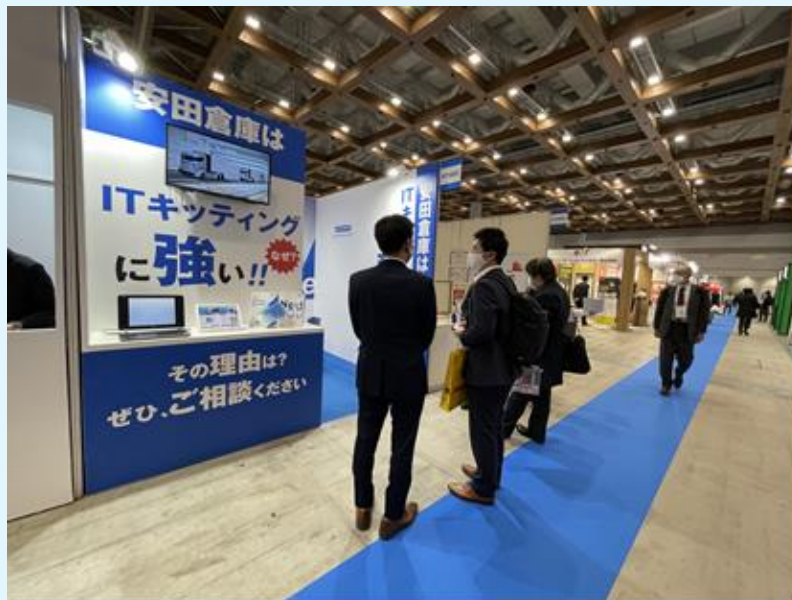
名 称	東雲営業所 (東京メディカルロジスティクスセンター)
所 在	東京都江東区東雲2-13-35
敷地面積	3,286坪 (10,864㎡)
延床面積	6,682坪 (22,089㎡)
主要構造	鉄骨造(CFT造) 地上4階建て
開 設	2020年6月

倉庫外観



名 称	東雲営業所 辰巳倉庫 (東京メディカルロジスティクスセンターⅡ)
所 在	東京都江東区辰巳3-6-3
敷地面積	約1,600坪 (約 5,200㎡)
延床面積	約5,400坪 (約17,800㎡)
主要構造	鉄骨造 地上7階建て
開 設	2021年1月

IT機器物流サービスの拡充



▲ リテールテック JAPAN 2021出展

調達処理はお客様にて対応頂きますが、
その他のライフサイクルにおける業務について
トータルでご支援致します。



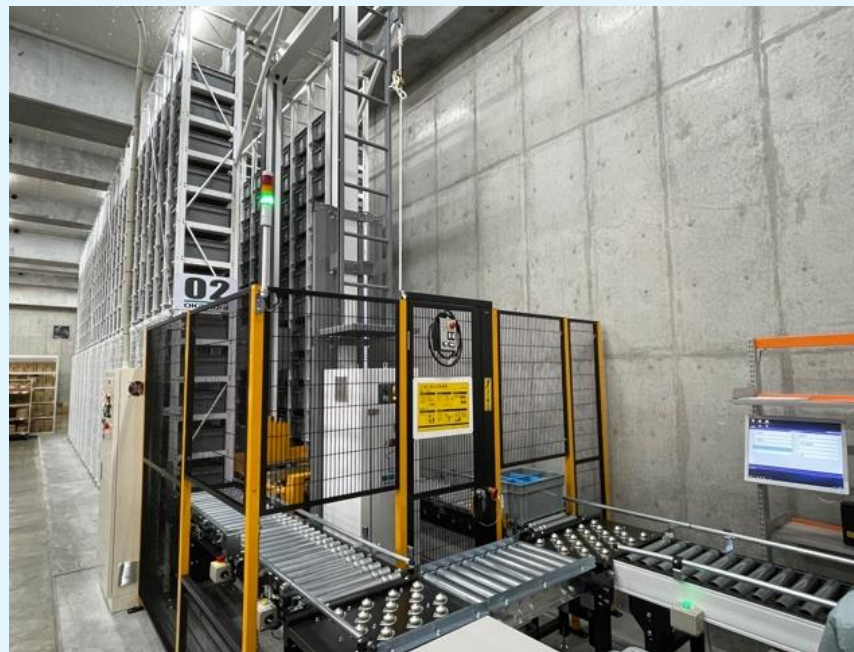
IT機器物流サービスの更なる事業拡大に向け、2021年3月「リテールテック JAPAN 2021」に初出展し、PCのライフサイクルマネジメントや各種IT機器のキッティング実績を紹介いたしました。

また、文部科学省のGIGAスクール構想の実現に向けた1人1台端末整備事業を受託し、首都圏を中心に各地でサービスを提供いたしました。今後もお客さまからの様々なニーズにお応えすべく、サービスの充実を図ってまいります。

自動化への取り組み



▲ ピースソーター（自動仕分け）システム



▲ スタッカークレーン（自動倉庫）

物流業界では、労働人口の減少やEC市場の拡大による荷量の急増などの課題に直面しております。

当社グループでは、これらの課題克服と更なる事業拡大をはかるため、ピースソーターシステムやスタッカークレーンの導入など、物流現場の自動化の取り組みを推進し、単純作業の省人化と、人の手によるきめ細やかなサービスの両立を図ってまいります。

物流におけるDXの推進

「DX事業推進室」の新設

当社グループの物流事業に関するDX推進を主業務とする

「DX事業推進室」を新設し、最先端テクノロジーと高度な情報システムの融合による、お客様への更なる付加価値の高いロジスティクス・サービスの提供を目指します。



位置特定特許技術を持つRFルーカス(株)への出資

2021年2月、電子タグ（RFID）の読取時の位置情報特定技術において日米欧で特許を持つRFルーカス(株)へ出資を行いました。

当社はRFルーカス(株)の技術の活用で更に付加価値の高いソリューションを提供するとともに、業務の効率化及びDX推進に一層取り組んで参ります。



現本社への移転



現本社 : msb Tamachi 田町ステーションタワーN



旧本社

移転時期

2020年12月28日

移転理由

オフィス環境の改善及びグループ経営の
効率化を図るため

移転会社

安田倉庫
ヤスダワークス（倉庫荷役業）
芙蓉エアカーゴ（航空貨物取扱業）
安田エステートサービス（不動産管理業）

旧本社は再開発の上
有効活用を検討



｜エコシップマーク優良事業者の認定

神奈川県から福岡県までの在庫移動に際し海上輸送を利用することでCO2の削減に貢献。エコシップマークの優良事業者として認定されました。

｜ホワイト物流推進運動への参加

トラック運転手不足が深刻になっている現状に対し、物流の改善提案やモーダルシフトなどの取り組みによる効率的なサプライチェーンによって持続可能な物流の実現をめざします。

｜社会貢献活動として本社・海岸周辺の清掃活動を継続して行っております



ESGの取り組み（S）



民間物資拠点（災害時の緊急支援物資保管拠点）

震災などの大規模災害発生時に緊急支援物資を保管し、避難所等へ送り出すために設置する拠点として行政が定める「民間物資拠点」として、当社11拠点が指定されております。



新山下



柏



茨木



九州

ESGの取り組み（G）



ガバナンス体制の強化

- 指名・報酬諮問委員会の設置 : 2020年2月
- 執行役員制度の導入 : 2020年6月
- 株式報酬制度の導入 : 2020年6月

今後もガバナンスの強化に努めてまいります。

0 4

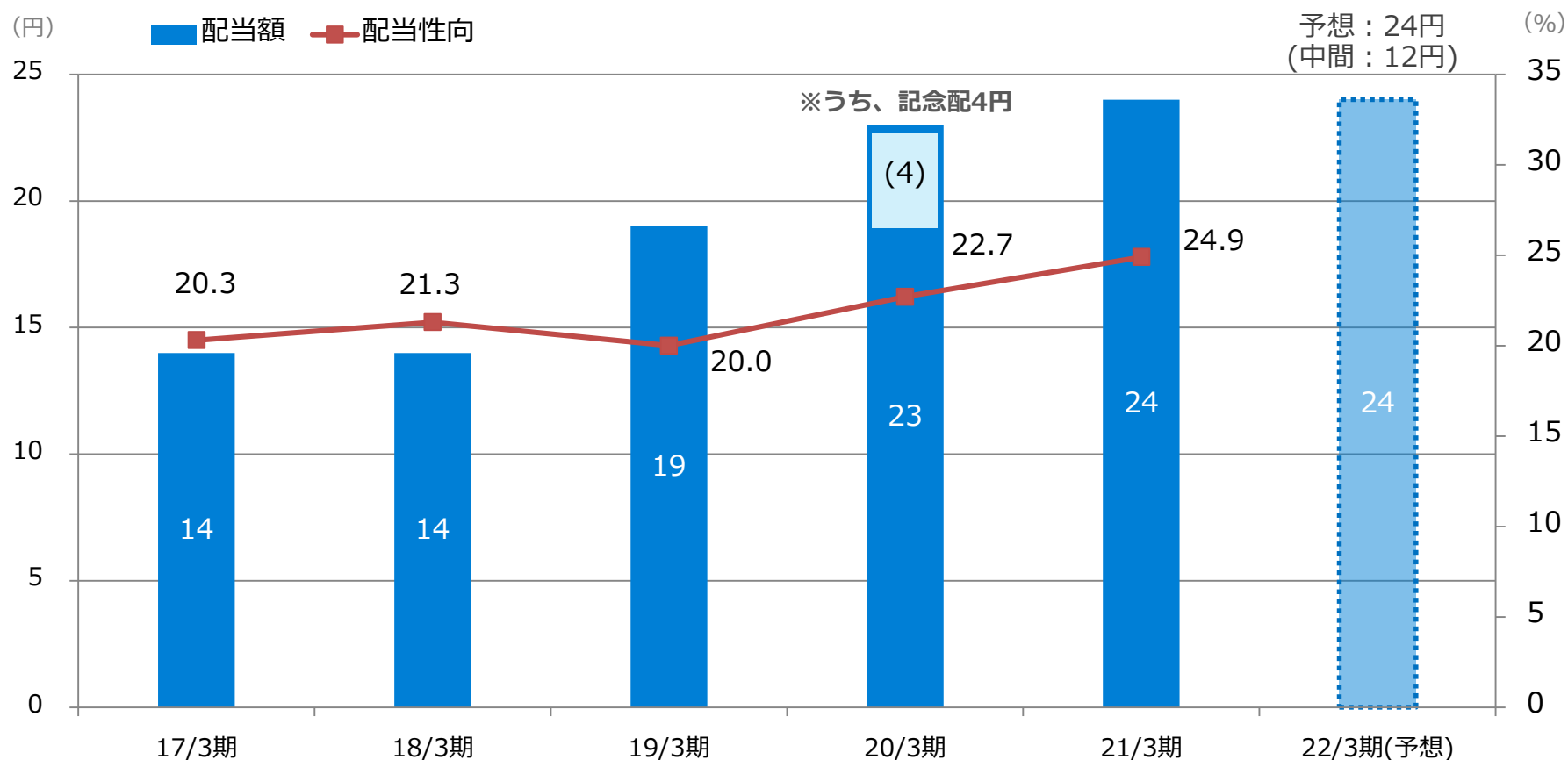
安田倉庫の株主還元

安定配当を基本としつつ利益水準等を勘案し決定

<基準日>

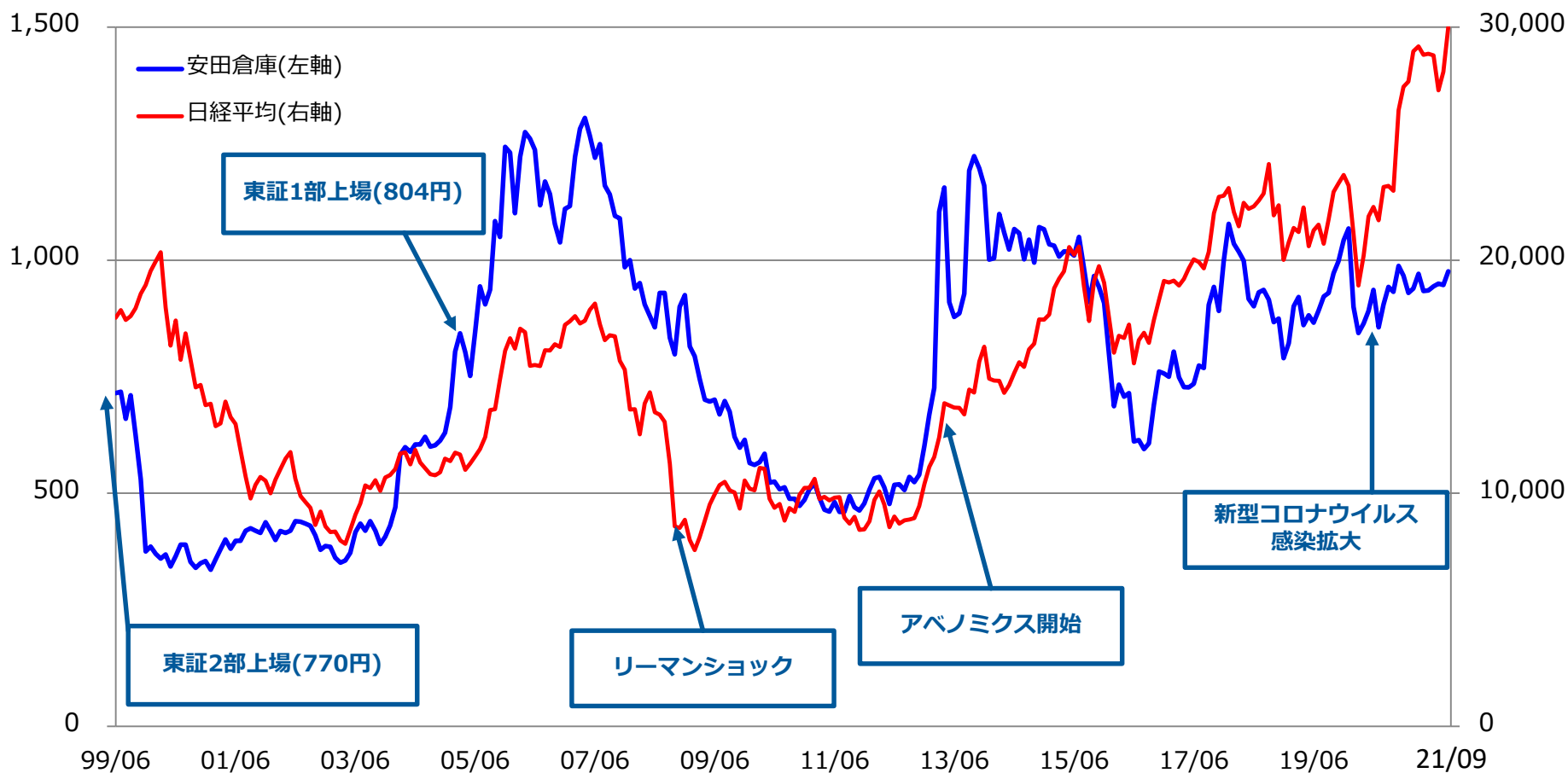
■ 中間配当：9月末

■ 期末配当：3月末



株式状況

(単位：円)



	終値 (9月9日時点)	時価総額 (百万円)	1株利益 (今期予想)	PER	配当 (今期予想)	配当利回り (今期予想)	1株純資産 (2021年3月末時点)	PBR
安田倉庫	976	29,631	89.78	10.87	24	2.46%	2,622.46	0.37

株主優待

3月31日付の株主様を対象に株主優待を年1回実施

ご所有株式数

100株以上～1,000株未満

1,000株以上～5,000株未満

5,000株以上～

優待品

お米券 2kg

お米券 5kg

お米券 10kg



なお、株式会社共立メンテナンス様のご協力により
単元株以上を保有されている株主の皆様に
「ラビスタ函館ベイご宿泊優待券」をお届けしております。



当社ホームページを是非ご覧ください

| <https://www.yasuda-soko.co.jp>

TOPページ



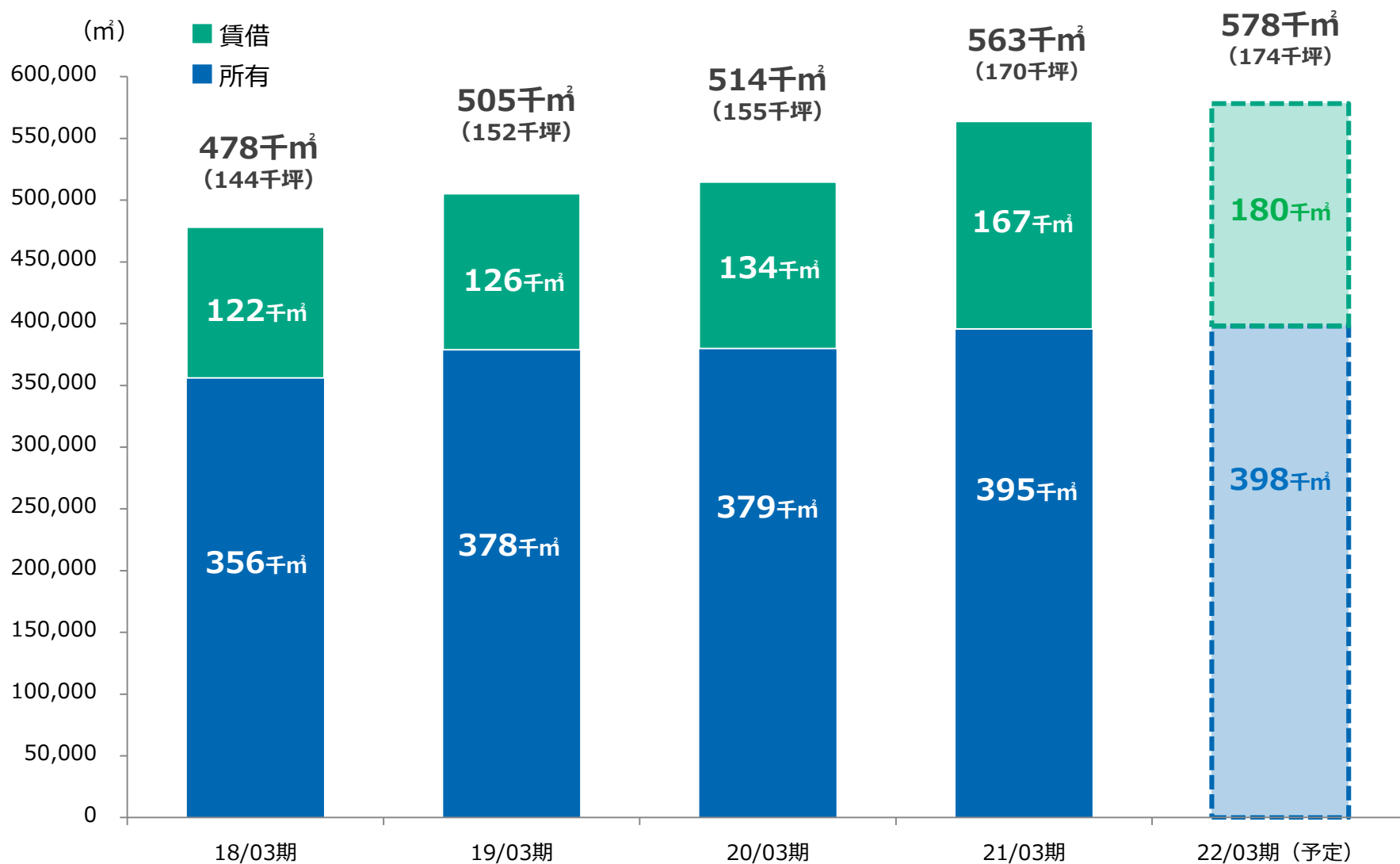
個人投資家の皆様へ



0 5

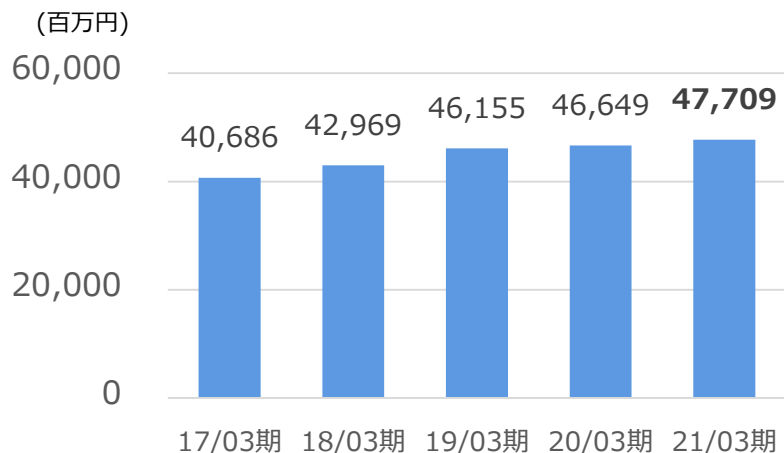
参考資料

物流事業施設面積推移

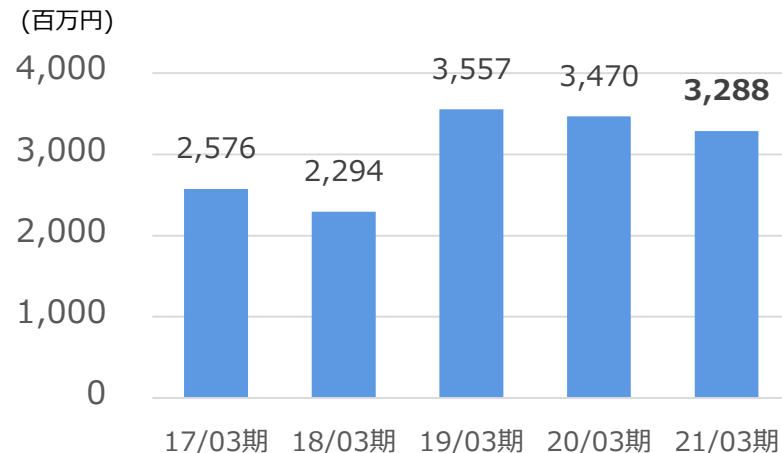


業績推移（連結）

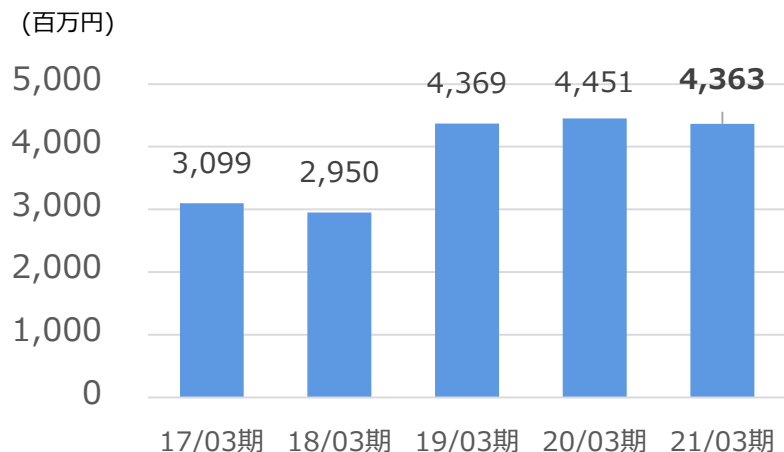
営業収益



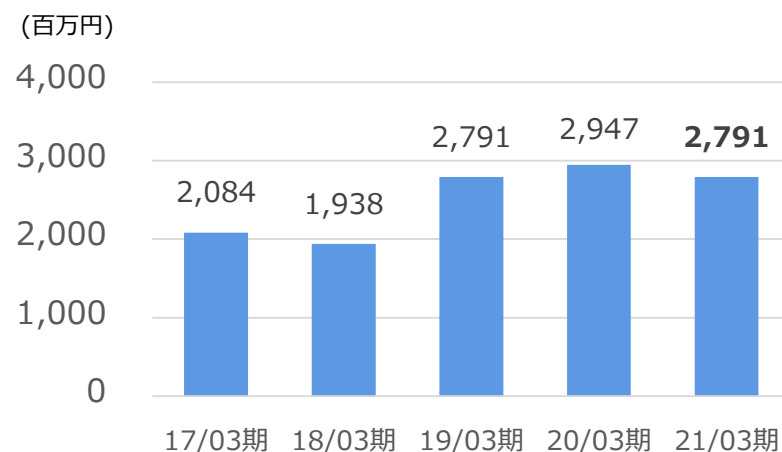
営業利益



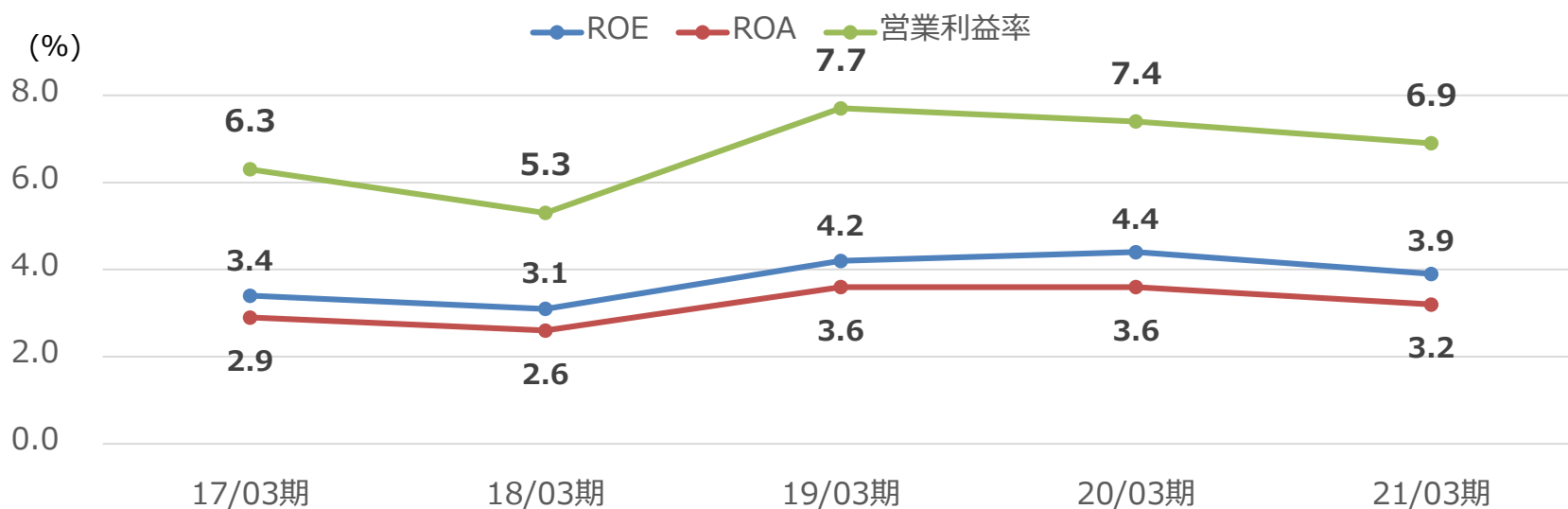
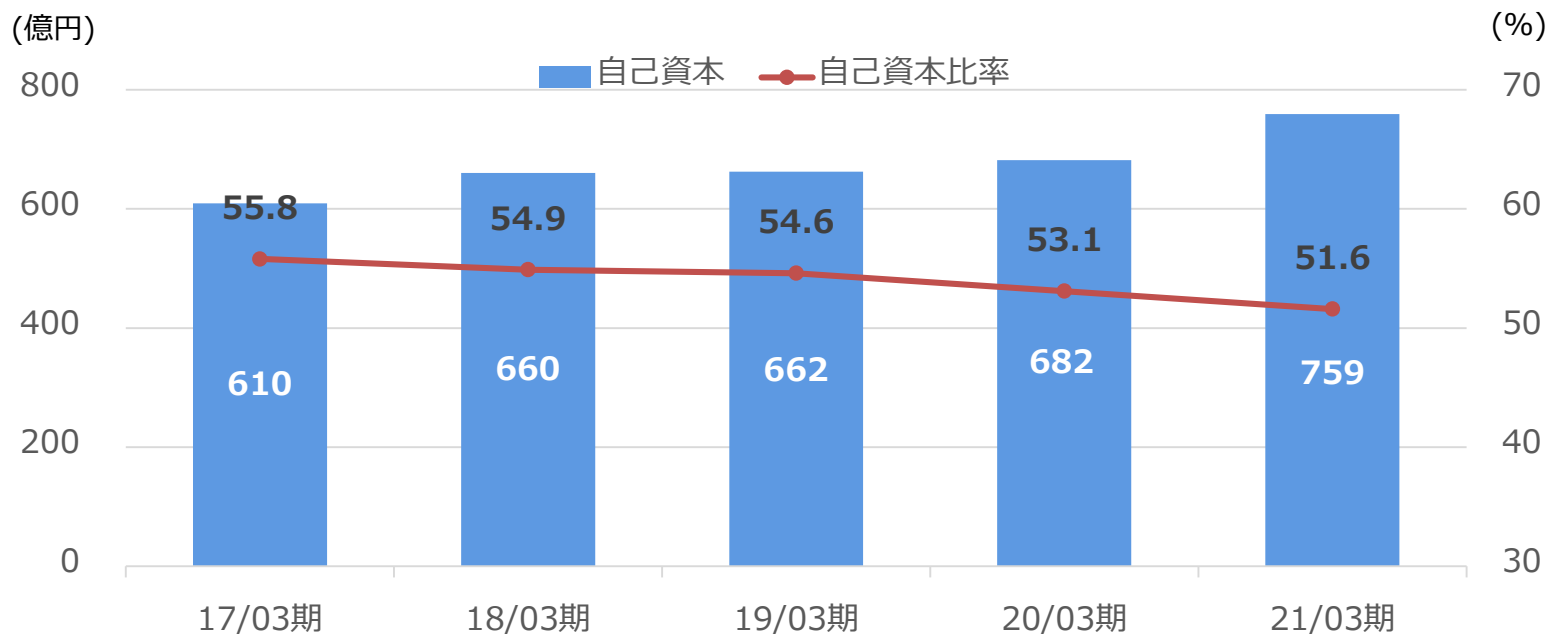
経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



財務基盤



いま見える未来は、超えていける。

安田倉庫は、挑戦を続けます。

国境も、従来の物流の枠も超える、ボーダレスなロジスティクスカンパニーへと進化するために。

そして、お客様が思い描く事業と社会の新しいかたちを創造するために。



Logistics, Progress, Borderless.

YASDA
安田倉庫株式会社

当資料は、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。当資料は、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。

将来の業績は、経営環境等の変化に伴い、目標や計画に対し変化し得ることにご留意下さい。

投資を行う際には、必ず弊社が作成する有価証券報告書等をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。